



第4回 ワークショップ in 東京 開催 のご案内



外陰・膣萎縮レーザー治療 **MonaLisa Touch®** (モナリザタッチ)

日時：2018年3月17日(土) 18:00 開演

場所：株式会社DKSH ジャパン青山オフィス

東京都港区南青山 2-21-37 (地下鉄銀座線外苑前駅徒歩3分)



座長



教育
講演

太田 博明 先生

国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授
山王メディカルセンター女性医療センター長

太田 博明 先生

**100歳までの人生設計にGSM 対策を
～健康長寿への憧れを現実に～**

いよいよ人生100歳時代がやってきます。めでたいとされる長寿ですが、健康長寿には限りがあり、「長生きリスク」があるのも事実です。人生晩年に介護で一番問題になるのは排泄です。それには早めからのGSM(閉経後性器・尿路症候群：genitourinary syndrome of menopause)対策が必要で、備えあればうれい(憂い/悪い)なしとしたいものです。

慶應義塾大学医学部卒、米国ラ・ホーヤ癌研究所留学、慶應義塾大学産婦人科講師・助教授、東京女子医大産婦人科主任教授を経て、現職に至る。女性医療の分野における第一人者として、女性のウェルエイジングのための予防医療の重要性を積極的に提唱している。



講演

二宮 典子 先生 女性医療クリニックLUNA心斎橋院長

**モナリザタッチは女性の救世主となり得るか?
～女性泌尿器科医としての視点から～**

腔萎縮に対するレーザー治療としてモナリザタッチは数多くの女性を救ってきました。今後、この治療の有効性は果たしてどこまで広がるのでしょうか。腔のかゆみ・乾燥以外にどのような訴えの患者さんへモナリザタッチが有効なのか、はたまた適していないのか…。女性泌尿器科医としての目線でお話しさせていただきます。

香川医大卒。大阪市立大学医学部泌尿器科入局。泌尿器科専門医。女性の排尿トラブルのニーズに答えるべく女性泌尿器科・骨盤底疾患について研鑽。女性の全身のさまざまなトラブルに対応するために東洋医学の研究も行っている。

デモンストレーション

モナリザタッチ施術の実際をお見せします。

講師：二宮 典子 先生

パネルディスカッション

モナリザタッチを臨床現場で取り入れている先生方に、臨床や運用面での評価についてご討論いただきます。

パネリスト：**小川 麻子 先生・八田 真理子 先生
福田 洋 先生**

▼ 参加申込書

ご施設名	フリガナ	ご住所	〒
T E L			都道府県
参加者お名前			